

神奈川台場地域活性化推進協会は25日、幕末に建造された「神奈川台場」の歴史をつづった冊子「神奈川台場物語」を、横浜市神奈川区の市立幸ヶ谷小学校に寄贈した。6年生の社会科の授業などに活用する。

全校児童が集まる朝会で、同協会の山本博士理

「神奈川台場」の冊子 幸ヶ谷小学校に寄贈

横浜

理事長が「地域の歴史や遺跡は個性ある街づくりにつながる」と述べ、冊子を児童に手渡した。代表として受け取った6年生の石川凜緒さん(12)は「江戸時代の歴史を習うのに参考になる」と話した。

神奈川台場は横浜開港後、同小近くの海岸部に建造され、横浜の守備や、外国船と礼砲を交わす拠点として使われた。大部分は埋め立てられたが、同協会が「貴重な遺構を知り、地域の歴史を語り継いでほしい」として冊子を製作。同区、西区、中区の市立小学校37校に3年間で約1万部を寄贈する。

【山本明彦】